

## 2. 火山の概況

(平成 16 年 4 月 29 日 ~ 平成 16 年 5 月 5 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続した。

福徳岡ノ場では変色水が観測された。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

桜島では爆発が発生した。レベルは2。

薩摩硫黄島では降灰があった。

諏訪之瀬島では爆発が多発した。

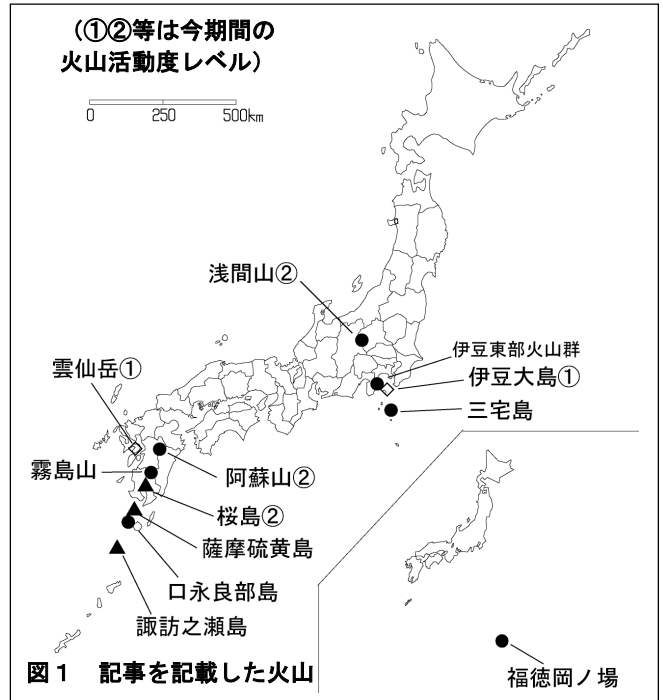


図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島	十勝岳	伊豆東部火山群	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号									
19	4/29-5/5	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲		●	●	●	▲	●	▲
18	4/22-4/28	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	◆	●		●		●	▲
17	4/15-4/21	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	▲		●	●	▲	●	
16	4/8-4/14	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●			●	●	●	
15	4/1-4/7	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇		●		●	●	●	

**注1 記号の意味**

- ▲：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載した火山の、その後の状況等
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

**注2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山** [地震・微動・熱] レベル2（やや活発な火山活動）

振幅の小さい地震は、昨年6月末頃からやや多く観測されるようになってきているが、今期間も1日あたり21~50回とやや多い状態が続いた。振幅の小さい微動は5回観測された(前期間は6回)。

赤外線カメラ（群馬県林務部が火口縁に設置）では、火口底に引き続き高温部が確認された。

● **伊豆東部火山群** [地震]

4月24日から活発化していた微小な地震活動は、その後もやや多い状態が続いていたが、5月2日にはほぼ収まった。

◇ **伊豆大島** レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● **三宅島** [噴煙]

白色噴煙が山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上400mであった。振幅の小さいやや低周波地震は、1日あたり3~34回と少ない状態で推移した。

GPSによる地殻変動観測では、昨年6月頃から始まった三宅島の収縮傾向が継続している。

## ● 福徳岡ノ場 【変色水】

30日に海上保安庁が行った上空からの観測によると、福徳岡ノ場から南西方向に、長さ1km、幅30～50mの黄緑色の変色水が確認された。軽石等の漂流物は見られなかった。なお、同庁が4月13日に行った観測では、変色水等は確認されなかった。

## ● 阿蘇山 【熱・土砂噴出・微動】 レベル2（やや活発な火山活動）

**中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。**

30日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割（前期間も約3割）で、湯だまりの表面温度の最高は81℃（前期間70℃）、火口壁の最高温度は446℃（前期間383℃）と依然高温状態にあった。湯だまり中央部で約5mの土砂噴出が観測されたほか、湯だまり南西縁の噴気孔から勢いよく噴気を噴出し、噴気音の大きさは、誰にでも聞こえる程度であった。

期間中、連続微動を観測した。また、孤立型微動は今期間819回発生し（前期間は818回）、依然として多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上300m（前期間400m）であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

## ◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

## ● 霧島山 【噴気】

29日及び2日に御鉢で火口縁を越える噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上100mであった。

## ▲ 桜島 【爆発】 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

5月1日に噴火（爆発）が1回発生した（爆発の発生は2月20日以来。前期間は噴火が2回）。期間中の噴煙の高さの最高は火口縁上800m（灰白色）であった。鹿児島地方気象台（南岳の西南西約11km）では、昨年11月19日を最後に降灰は観測されていない。

## ▲ 薩摩硫黄島 【降灰】

三島村役場硫黄島出張所によると、29日及び30日に集落（硫黄岳の西南西約3km）で降灰が確認された。

## ● 口永良部島 【地震・微動】

地震の発生は、2月2日に多発して以降増減を繰り返しているが、今期間も短時間に集中して発生することはなく、期間中の合計は31回であった（前期間は17回）。火山性微動は1回発生した（前期間はなし）。

## ▲ 諏訪之瀬島 【噴火・爆発・微動】

期間中、噴火を43回観測した。その内40回は爆発的噴火で、5月1日には35回（全て爆発的噴火）と多発した。遠望カメラによると、期間中の噴煙の高さの最高は火口縁上1,000m（灰白色）であった（前期間は700m）。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、29日及び5月1日に多量の火山灰を含んだ噴煙を上げているのを確認し、1日朝には爆発音や鳴動が確認された。期間中、集落（御岳の南南西約4km）では降灰はなかった。

火山性微動は、期間中断続的に発生し、特に30日夜～1日夜にかけて約26時間連続した。

**表 2 火山情報発表状況**

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第 236 号	29 日 09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	↓（1日2回発表） 火山観測情報第 249 号	↓ 5 日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第 26 号	30 日 11:10	火山活動は引き続きやや活発（孤立型微動やや増加、連続微動発生、小規模な土砂噴出多数発生、湯だまりの高温状態継続）。レベルは 2。
諏訪之瀬島	火山観測情報第 1 号	1 日 09:30	火山活動が活発化。爆発的噴火が頻発。
	火山観測情報第 2 号	4 日 10:40	やや活発な火山活動が継続。30 日～2 日に爆発的噴火が多発。地震や微動のやや多い状態が継続。